

 <p>Member of United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization</p>  <p>UNESCO Associated Schools</p>  <p>AKITA SDGs</p>	<h1>朝風</h1>	<p>令和4年度 学校報No.14</p> <p>令和4年7月12日</p> <p>大仙市立 大曲南中学校</p>
<p>教育目標 自立 貢献 ～ 夢大きく 共に学び 新たな時代をつくる ～</p>		 <p>※HP随時 更新しています</p>

## ◇全日本吹奏楽コンクール秋田県県南地区大会 県大会出場決定

# 金賞

7月10日(日)に湯沢文化会館で行われた、吹奏楽コンクール小編成の部で、本校の吹奏楽部が金賞を獲得しました。PTAの際、壮行演奏会を行いました。あの演奏以上の演奏が本番でできたということで、金賞をいただくことができました。

県大会は7月30日(土)秋田市文化会館で行われます。吹奏楽部の皆さんの笑顔あふれる演奏に期待しています。

## ◇ケンタロ・オノ氏講演会の感想

7月4日(月)に行われた講演会の、生徒の感想を紹介しします。全員の感想をケンタロ・オノさんに送りましたが、ここでは各学年から一人ずつ紹介しします。講演の内容を深く読み取り、自分にできることは何かを真剣に考えています。

### 3年 高橋 璃子

今日の講演会を聞いて、今世界でおきている大問題や、私たちの当たり前は、世界では当たり前じゃない国がたくさんあるということを知ることができました。ケンタロ・オノさんは、いろいろな意味ですごい人だと思いました。ネットで調べたときも「キリバスのとりこになった」「日本の国籍を失うことに後悔はなかった」など、読み進めていくうちに、キリバスへの愛の大きさに感動しました。ケンタロ・オノさんの最後の質問「あなたはこの子たちの目を見て言えますか?…ごめんね、あなたたちはもうすぐここに住めなくなるかも知れない…」私には言えないと思いました。「誰一人取り残さない」という世界で、誰かがこの言葉を言ってしまったら、その人はもう世界の仲間ではないと思います。地球温暖化が進む中、私たち一人一人が手を取り合って何かしなければ、世界は終わってしまう、そう思いました。今日の講演は、私のこれからの人生のどこかで必ず役に立つと感じました。世界の人々の大切な「命」を守るために、自分自身ができることを最大限にやりたいです。(キリバスの人たちは、しょっぱい水を飲んでいると聞きましたので、浄水場を作るのはどうでしょう?ダメかも知れませんが、ケンタロ・オノさんに伝えてください。)

### 2年 富岡 愛李

ケンタロ・オノさんの講演会を聞いて、もっと多くの方がSDGsに興味をもち、17の目標に取り組んだ方がいいと思いました。地球温暖化や気候変動のせいで自分の国がなくなってしまうなんて考えたことがなかったので、キリバスがとても危険な状況であることを知ったときは驚きました。そのような人たちがいるのに、食べ物を捨てたり、節電・節水をしなかったりした自分の行動は反省しないといけないことだと改めて気付かされました。今までの自分は、中学生の私なんて行動しても意味がないと思っていたけど、何かできることはないかと探して見つけたら、それに取り組み、小さなことでもいいから積み重ねることが必要だと、この講演会を聞いた後に思いました

### 1年 最上 稟莉

私は講演会でキリバス共和国のことやSDGsのことについて、詳しく知ることができました。地球温暖化で海面の高さが上がってきていて、キリバス共和国がなくなってしまうというお話について、私は深く考えました。キリバス共和国以外の国でも、この問題で困って、苦しんでいる人たちがたくさんいるかもしれないと思いました。この問題を解決するためには、他人に任せるのではなく、一人一人がSDGsのことについて考え、行動すればいいと思ったし、ケンタロ・オノさんが言っていた「誰一人取り残さない」そんな地球を目指すために私も、自分ができることから積極的に取り組んでみたいです。SDGsのことについてたくさん教えていただき、ありがとうございました。

SDGsの基本理念は「No one will be left behind」  
意味は、上の感想の中にあります!

## ◇5月25日(水)、6月2日(木)SDGsワークショップの様子が、 「中高生のための朝日SDGsジャーナルの『みんなのSDGsジャーナル』(Web)」に掲載されました。

<https://www.asahi.com/sdgs/article/14650690> または本校HPから